

第64回春季東北地区高等学校野球宮城県大会

準決勝		石巻市民球場		1 時間 36 分													
古川工業	0	0	0	0	0	0	0	0			0						
東北	0	0	0	2	2	0	0	0	x			4					
(球) 佐藤拓 (一) 金 (二) 野田 (三) 佐藤浩																	
【古】		相澤・錦戸		—		三浦										▽本塁打	
【東】		古川原		—		布施										▽三塁打	
▽暴投		なし				▽捕逸										▽二塁打	
																布施(東)	
																なし	
																村井 (古)	
																植木, 中村 (東)	

【評】
地元開催となる東北大会の出場権を一番乗りで獲得したのは東北であった。序盤は東北の古川原，古川工業の相澤両先発のテンポの良い投球で無得点が続く。試合が動いたのは4回裏。東北は一死三星から中村の二塁打で先制。さらに1点を追加し，続く5回裏には主砲布施が今大会3本目となる2ランホームランを右翼席に叩き込んだ。古川原は14奪三振の完封勝利。投打の柱が活躍し決勝進出を決めた。敗れた古川工業であったが，3併殺をとる堅い守りや，2番手で登板し無安打に抑えた錦戸の投球など北部地区優勝の実力を十分発揮した。

準決勝		石巻市民球場										2 時間 22 分											
東	陵	0	1	0	0	0	2	0	1	1											5		
仙	台育英	0	0	0	0	0	0	0	0	1											1		
(球)	武田	(一) 菅原幸				(二) 高橋弥				(三) 佐藤圭													
【東】		佐藤瑞				— 三谷																	
【仙】		長谷川				— 尾崎・渡部																	
▽暴投		長谷川1(仙)				▽捕逸				尾崎1(仙)													
																						</	

【評】
東陵が昨秋の東北大会を制した仙台育英を破り，3季連続となる東北大会出場を決めた。東陵は2回表に2番佐藤瑞の適時打で先制すると，6回表一死満塁から1番佐藤賢の安打と敵失で2点を追加，8回・9回にもそれぞれ1点ずつ加点し流れを離さなかった。投げては主戦佐藤瑞が仙台育英打線を8安打1失点に抑える好投で，守備も4併殺をとり無失策と鍛えられた守りが光った。対する仙台育英は主戦長谷川が7四死球と制球に苦しんだ。7回裏の攻撃では代打佐藤，9番長谷川の連打と四球で一死満塁としたが，2番鈴木が併殺に倒れ，好機をものにできなかった。